

小学校から高等学校までを通した天文教育スタンダードの作成

A Tentative Proposal for Astronomical Education Standard

有本 淳一[1]

Jun'ichi Arimoto[1]

[1] 塔南高校

[1] Tounan High School

私は昨年(2004年)の日本天文学会秋季年会において、小学校から高等学校までを見通した天文分野のカリキュラム案を作成し、提案した(有本他

、2004年)。これは次期学習指導要領改訂を視野に入れたもので、いろいろな立場で考えられたものを複数提示するものであった。しかし

、本来のカリキュラムとは目先の指導要領の改訂などには関係なく、本質的に子ども達がどのように宇宙観という概念を形成していくのか

ということ、あるいはどのように教授していくと現代の天文学が描く宇宙観を獲得できるかという視点で構成されなくてはならない。そこ

で、私は秋季年会において提案したカリキュラムをさらに検討し、すべての子どもたちが学ぶべき天文学的な内容と、その指導法・指導順

を示すユニバーサルなカリキュラム案を作成した。これは今後の天文カリキュラムの議論の中で基本的な考え方を示すものとなることを目

指した。

また、カリキュラムとは教材・教具、あるいは具体的な指導案と一体となってはじめて現場で使われるものである。よって、そのような

付随するものをあわせた全体を、全米科学教育スタンダードにならい、“天文教育スタンダード”と呼び、これを提案するものである。

講演では基礎的資料として作成中である教材や教具のデータベースについても紹介するものである。